
あり得ない次元

鏡

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

あり得ない次元

【Nコード】

N9724S

【作者名】

鏡

【あらすじ】

突然電波をキャッチして、これは次元的背景はおkじゃね？介入とか・・・ただし人格的、倫理的に問題がある気がする（レベル）で済めばいいなあ　とりあえずSAN値はガリガリになるかと思いません。

(前書き)

この小説は皆様のSAN値を試すためのものではありません。

作者の知識はwikiと二次創作からです。

皆様の認識・知識との違いが過多にありますので、ダメな方はお戻りください。

物語を・・・物語を始めましょう？

でたらめを入れて、語りを遮りながら

ゆっくりと一つ一つ、風変わりな出来事を打ち出して

ゆがんだ国の、物語を育みましょう

悪徳というヒトが熟成させた妄執に漬け込まれた、濡れた物語を。

「な、なんでここに・・・？」

「・・・うそ・・・」

「生きてるハズがないのに！！」

「どうして！！」

新暦75年 ミッドチルダ

蒸し暑い季節にソレは起こった。

多発する怪事件、そこにあらわれる血のような「深紅の化け物」。

その化け物のように不定形な調査結果、原因の分からない事件、管理局に危機感が募り、市民に不安が広まった。

暗礁に乗り上げつつある事件を解決するために機動六課に辞令が下るも、解決の糸口さえ見えてこない。
そんな部隊の前に再び相まみえるとは思いもしなかった人物たちが現れる。

「うふふ、だってこれは夢よ？ねえ、クイーン？」

「ええ、夢だもの・・・だから私はここにいるのよ？」

「うわぁ、私初めて生でみた！」

「おい、その3人。我は帰るぞ？我だっていいかげん母上に会い・・・ゴホン！時空の監視の役割があるだろう」

「うふふ、騎士殿もなのねえ？私もお母様に会いたくなって（やりたくなくて）きちゃったあ」

「ええ〜もう？私フェイトと・・・シたいのに〜」

「アリシア、ママと一緒にね〜」

「一緒〜」

「・・・おい、誰かこの色ボケをどうにか・・・」

「・・・騎士殿（あなた）（お兄さん）（も同じでしょう）（でしょう）（だよ）」

「一斉に反論するな！！！」

あり得ない邂逅に、変貌しきった再会者。

「うふふ、フェイト〜」

「フェイト〜」

「ひぁ、か、母さんにアリシア、や、やめ・・・」「うりんうりん

「「そこはらめえー！！！」

「うわ〜うわ〜」

「うああああ」

「放せー！！！！妹が！！！」
フェイト

「だめよ〜、せっかく親子が（淫美な）コミュニケーション図って

「測定不能!?」

「あーあ、私も遊びたかったなー」

「汝、無垢なる刃! デモンベイン!」

「……どここのスパ ボ!?」

「はーはっはっは!!! いいねえ、盛り上がってきたよ!!! ならばこ
つちも協力者のもと作り上げた新兵器をお披露目だ!!! 協力者カモ
ン!」

ギヤオオオオオッン

「……これはナイわorz」

「世紀の大天才!!! ドクターウエスト、参上!!! 吾輩、気付いたら
黒服のやたら露出高い女に落とし穴に落とされた! きつとあの女性
は痴女であるな! そして、たどり着いたのはなんと異世界!!! これ
はもう吾輩のテンションアゲアゲであゝる。そこで久方ぶりにでき
た友人「ドクタージェル」と意気投合!!! これはもうロボ作るし
かないと決定されたのである! もちろん自爆スイッチは必ず実装!
なんせ「科学者の矜持」であるからな!!! そして、機械が入っ
てるなら当然そこにも自爆スイッチは必ず必要! なので吾輩達は戦
闘機人にももちろん実装「……何装備させてんですか!
!」ドグウブゴオ……ふふふ、これしきエルザ
のツッコミに比べたらへの河童である! とにかく覚悟するである!
デモンベイン! まさか異世界でお前と戦えるとは吾輩幸運で天井に
登りそうである! さあ

行くのである! 『破壊ロボ57号・初の共同作業はドッキドキV

e r r

「……うわあ」

「……」

異世界でも絶好調

歪んだ因果はもとに戻るのか、歪み換れるのか

T o b e C o n t i n u a t i o n ?

(後書き)

この小説は作者が突発的に電波を受信して執筆したもので、本編並びに続編が掲載されることは絶望的です。

なんでこんな駄文を掲載したって？

それは作者がうつ病だからさww

それとアナブラとプレシア、アリシアの行為はあくまでもコミュニケーションなんだからね！勘違いしないでよ！？

アナブラ・九朔は次元ぐらい普通に行き来おkだよな？ 虚数空間？ナニソレおいしいの？ プレシア×アナブラでナニカが起こる？

プレシア家族狂とか？ ネクロノミコンって死者蘇生ぐらいできだよな？(ハムナプトラで) アリシアを取り戻したら次はフェイトだろ？ みんなでミッド観光に行かぬ？(訳：フェイト拉致りに行かぬ？)

作者の妄想がこんな感じにパーンしたww
皆様のSAN値は保てたでしょうか？

作者のLPはまるで主人公のデステニードロー直前と同じでギリギリですw

また機会があれば次またお会いしましょう

読んでくださりありがとうございました

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9724s/>

あり得ない次元

2011年10月6日03時24分発行